つぶやき がんちゃんの

生活知恵袋

生活に何かと役立つ連載コラム

せいかつちえぶくろ

Vol.124

今月のテーマ 「それぞれの2,000万円問題」見える化を

人は、「見てはいけない」と言われれば言われる程見たくなるもの。「見ない方がいい」「見てはいけない」と思えば思うほど見たくなってしまう。「鶴の恩返し」に出てくる若者も決して見てはいけないと言われたにもかかわらず、ついに覗いてしまった。往年のスター西城秀樹だって♪やめろと言われても～♬と抑えられない激しい恋の歌を歌っていた。ロミオとジュリエットの禁断の恋にしたってそうだ。食べちゃいけないと言われると、隠れてでも食べたくなる。隠れて“食べるから”、隠れて“飲むから”こそスリルとともに妙な達成感も味わえてしまうのだ。夏の定番「お化け屋敷」に行くのも「稲川淳二の怪談」を聞きに行くのも「怖いもの見たさ」に他ならない。

ダメと言われるとかえってやりたくなる。人の性（さが）はなんと“あまのじゃく”なことか…。心理学的にも、人は他人から強制されたりすると、自由を阻害された感を抱き、心理的な反発を反射的に持ってしまう生き物のようだ。良くも悪くも、「好奇心」や「探求心」、はたまた「野次馬根性」の何れも、似たような心理状態なのかもしれない。吾輩も「あまのじゃく」であることに決して例外ではない。あなただって心当たりはある筈だ。そうでしょう…。あれっ…！なんの話だっけ？そうそう、「見える化」の話だった。それぞれの2,000万円問題をそれぞれの環境に沿った形で具現化し、将来の収支を見通してみようというものである。

根拠の無い不安を蹴飛ばし、将来の安定・安心を確保するためにも、お金の流れを「見える化」しようというのが今月のテーマだ。これは、見てはいけないものではなく、見なければいけないものだが、果たしてどれだけの方が見ようとしているのだろうか…！？“見てはいけないものは見たがる”し、“見なければならないものは見ようとしない”あまのじゃくを退治せねばならない。

●怖いもの見たさはなぜ…

ホラー映画にしても、お化け屋敷にしても、絶叫マシンにしても、人は何故にチャレンジするのか…？多分、怖くても〝自分に危害が及ぶ筈はない〟という安心感があるからではないだろうか…。恐怖のジェットコースターでも安全が確保されている前提があるからこそ乗ってみようということになる。もし、安全が担保されていない事故が頻発するマシンであっても乗るだろうか。今月の課題は、絶叫マシンの話ではなく、自分自身の安全性がどうなっているかを見える化しようというものである。これから覗いてみようとする将来収支の安全・安心は必ずしも保証されていない。本当の不安や怖さは、先が見えないからこそ感じるものだ。降って湧いたような2000万円問題は、まさに見えない先の不安をあおられていると言ってもいい。根拠の無い不安に踊らされないためにも、それぞれの将来収支をしっかりと見える化してみようではないか。

●前提条件

将来収支を見える化するには一定の条件を設定する必要があるので、独断で一定条件の設定をしてみた。その内容は次の通りだ。

【家族構成と現況】

●夫40歳…18歳で地元企業に就職し、29歳で結婚、60歳以降65歳まで継続雇用。現在の税込年収は480万円、退職金は800万円

齋藤 廣勝（さいとう ひろかつ）
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所　年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

こちら

保険と暮らしの相談センター

“ご加入中の火災保険は大丈夫!?”

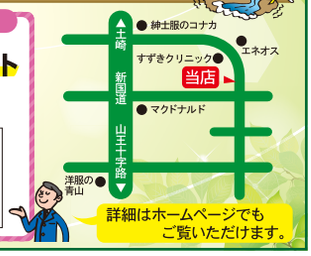
近年、局地的な豪雨や落雷、竜巻、異常な大雪などにより家屋や家財の損害が増えております。現在ご加入中の火災保険でしっかり対応できますか？
ぜひ補償内容をチェックしてみましょう!!

お気軽にご相談ください。

total life support 募集代理店 株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916　秋田市泉北3丁目17-22
● 営業時間／9:30～18:30
（土・日・祝日は9:30～17:00）
● 定休日／水曜日

TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp



詳細はホームページでもご覧いただけます。

（60歳）を予定。

●妻38歳…18歳で地元企業に就職し、27歳で退職。その後35歳～65歳までパートを続ける予定。年収は１２０万円で夫の扶養の範囲内。退職金は無し。

●長女10歳…短大に進学予定、奨学金を５万円（月額）利用。結婚資金50万円援助。

●長男８歳…地元国立大学に進学予定、奨学金５万円（月額）利用。結婚資金50万円援助。

【住宅環境】

35歳で戸建てを新築し、２５００万円を35年ローンで返済中。固定資産税10万円。

【その他】

マイカー、普通車（２５０万円）と軽乗用車（１５０万円）の２台保有。10年ごとの買替。

【生活費】

毎月の金額は「住宅ローン・固定資産税」「教育費」「保険料」を除いた月額20万円。

これを多いと見るか少ないと見るかは、それぞれの世帯次第であることは言うまでもない。

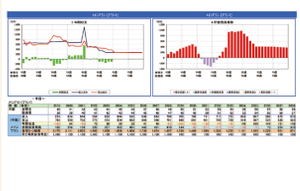
●さて結果は

結論から言うと、この世帯は子供の大学進学の期間に係る教育費の工面さえ出来れば、何とか耐えられるという結果になった。図表１の右上のグラフを見れば一目瞭然で、大学進学時には金融資産がマイナスとなり、何らかの対策が必要だ。その後は上昇し、退職金の受給でピークにに達し、住宅ローンの返済が終わるまでは大きく減少する。それ以降は夫婦合算の年金受給で現状維持の状態が継続することとなる。

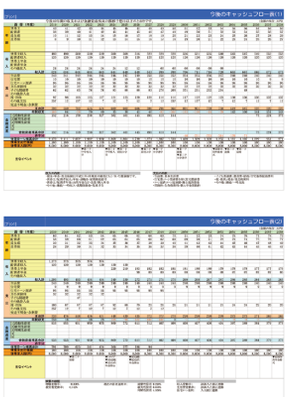
図表２は年度毎の収支を時系列にまとめたもので、収入を給与収入や児童手当や奨学金、はたまた年金受給額などを多面的に捉えている。支出に関しては生活費、住宅費、住宅ローン、保険料、子ども関連費、税、社会保険、その他の支出を項目別に確認できるようになっている。

そして、問題は将来の金融資産残高がどうなっているかだ。51～56歳の間は教育資金の影響が大きく、金融資産がマイナスになっていることがお分かりいただけるだろう。そして、この表は79歳までを試算したものだが、この時点ではかろうじてプラスを維持できている。因みに88歳の米寿を迎えた時の金融資産残高は２８９万円となっている。じゃあ大丈夫かというと、そうでもない。この結果は、あくまでも夫婦が元気で年金をもらい続けるという前提で成り立つものであり、どちらかが先に亡くなったとすればその結果は大きく異なる。また、子供の大学が自宅外になったりするだけでこの結果は大きくずれ込むことになってしまう。

図表1



図表2



※誌面スペースの都合上、見やすい図表を掲載することができません。大きな図表を確認したい方は「トータルライフサポートホームページ」ＴＯＰページの下部にある”エー・クラスＶｏｌ・１２４「老後の２０００万円問題」見える化資料“をご覧ください。

左記のアドレスかＱＲコードからご覧いただけます。

http://tls-akita.co.jp/

●備えの必要性

人の命が終わるときには、”ぴんぴんコロリ“と逝きたいものだが、その選択を自身ではコントロールできない。障害状態や要介護状態になったりするだけで窮地に陥りかねないだけに、予想外の支出に備える必要もある。金融審議会の報告書の中でも計画的な資産形成の充実が必要であることに触れている。その有効な準備手段として、「つみたてＮＩＳＡ（ニーサ）」と「ｉＤｅＣｏ（イデコ）」（個人型確定拠出年金）が税制上の優遇措置を受けられる代表的な金融商品として紹介されている。また、病気、事故、失業などの予想外の支出に備えるとともに、老後に向けた資産形成が必要としている。

●将来の見える化を

前期のシミュレーションは、秋田県の一般的であろうと思われる現状を表したものだが、これを皆さんの収支にあてはめられるものではない。多様化するライフスタイルや個々人の価値観によって結果は大きく異なる筈だ。先ずは、皆さんそれぞれが足元はもとより中長期的な視点で見える化に取り組んでいただきたい。ご自身でエクセル等を活用して作成することも可能だし、ファイナンシャルプランナーなどの専門家を利用し、問題点の洗い出しや解決策などのアドバイスを受けることもお勧めしたい。

●来月号は

今月は締切間近で、来月のことまで頭が回らないので、あとで考えます。